

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 巻わくわくフレンズ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員のチームワークの良さ	・一人ひとりの職員が他の職員の負担を和らげようと、考えながら行動することができる ・特に担当を決めずに各職員が周りを見て臨機応変に対応ができる。そのため、児童一人ひとりに対しても様々な視点からの意見を共有できる	・今後もこの方針を変えず、定着させることでさらなる結束を生み、職員の入れ替わりがあった場合でも盤石な体制を確保できる ・さらに話し合いの機会を増やし、情報共有の場を設ける
2	・学習スペース、活動スペースが確保されており、児童が活動しやすく、のびのびと過ごせる	・学習スペースや活動スペース、横になるスペースなどが区切られ構造化されていることで、児童も視覚的に配慮が来ている	・今後はSSTなど、小集団での活用も考慮し、さらに個別にスペースを区切れるような配慮を工夫したい
3	・児童一人ひとりに合った課題や活動を提供できている、集団活動と個別活動の両立ができている	・普段の活動は集団活動が多いが、児童に合わせて個別に切り替えたりしながら臨機応変に支援をしている ・様々なレベルに合わせたプリントを用意している	・今後も児童の伸ばせる部分を共有し、集団活動や個別活動などを両立して内容を考えていく ・プリントや療育グッズを使用している様子から、その児童がレベルアップできるような課題を探していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援体制の充実	・送迎時や個別対応、トイレ介助などが重なる場面では、基準人員を満たしていても対応が集中することがある ・時間帯の偏りや専門性向上の必要性が要因と考え、より安心で丁寧な支援体制の充実を課題としていく	・専門家の助言を元に、環境整備と職員の支援力の向上に取り組む
2	・地域との交流機会を増やす	・計画段階にとどまり、実行に移す仕組みが十分でなかった	・長期休みなどは小集団に分け、行ける児童で地域の活動を見に行ったり、見学させてもらう等の計画を考える ・地域の交流などについて情報収集し、段階的に地域との接点を増やしていく
3			